

平成 29 度 第 1 回狭山市文化財保護審議会 会議録

開催日時 平成 29 年 5 月 30 日 (火)  
午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで  
開催場所 教育委員会室  
出席者 高橋委員長、林副委員長、権田委員、橋本委員、日吉委員、名雲委員、樋口委員、宮瀧委員、岩本委員  
欠席者 川田委員  
事務局 向野教育長、滝嶋生涯学習部長、田中社会教育課長、吉田主幹、石塚主査  
傍聴者数 0 名

※審議会前に委嘱状の交付と正副委員長の選出を行った。また、審議会後に中内丈夫 前文化財保護審議会委員長に感謝状を贈呈した。

議 題

1 平成 28 年度事業報告について

資料に基づき事務局より説明を行う。次のとおり質疑等があったが、資料のとおり承認される。

質 疑

委 員 広瀬神社の大ケヤキだが、樹勢回復工事後の状態はどうなっているのか。

事 務 局 大ケヤキの現在の状態だが、樹勢回復工事の効果が確認されている。大ケヤキの周囲に雨水が浸透するように割れ目を入れた竹筒を複数設置したが、その周辺に根が集まる傾向が認められる。今後もこの処置と施肥を継続的に行うことが必要と考える。

委 員 了解した。

委 員 昨年度、2 件の市指定文化財の新指定があったが、狭山市では新指定に伴って指定文化財報告書を出す予定はないのか。

事 務 局 昨年度の 2 件については現在作成中である。

委 員 指定の度に刊行する必要はないと思うが、例えば 10 件程度まとまったら、市民の学習に供するためにも調査報告書の刊行をお願いしたい。

委 員 長 報告書の刊行以外にホームページの活用も積極的に行っていただきたい。

事 務 局 了解した。

委 員 発掘調査で出土した考古資料で、指定に値するような資料はないのか。

事 務 局 現在までに出土した資料では、これはというものは認められない。今後の資料整理の中で検討、提案していきたい。

委員 考古資料は、その価値については市民にも理解しやすいものと考えられる。過去に出土した資料についても、縄文土器に限らず、中世の資料なども検討してほしい。

事務局 了解した。

委員 博物館等への資料寄贈の件数は増加しているのか。また、博物館でも教育委員会でも寄贈を受けた資料については、公開等の措置が必要と思うが、どのような対応を考えているのか。

事務局 博物館関係については、寄贈はかなり少なくなっている。28年度の寄贈については7件だった。主なものとしては、市民から寄贈された風景画と特別展で展示した茶摘み娘リカちゃんである。

委員 受け入れには一定の物差しが必要である。今回のように、市民の作品である絵画の受け入れには慎重になるべきでは。文化財としての明確な評価が必要であると思う。県や他市町村の例を参照して、教育委員会としてのガイドラインを作っておくべきと考える。

委員長 事務局のほうで対応していただきたい。

事務局 了解した。

委員 民俗芸能振興事業についてだが、積極的な保存継承の方法を考える時期にきているのではないか。学校の活用を考えるのも一つの方法であるし、県内での事例も多いと思う。

委員 小学校等でクラブ活動として、獅子舞保存会などに指導をお願いするなどの方法があるのでは。

事務局 民俗芸能の継承については、緊急性の高い課題と考えている。早急に検討していきたい。

## 議 題

### 2 平成29年度事業予定について

資料に基づき事務局より説明を行う。次のとおり質疑等があったが、資料のとおり承認される。

#### 質 疑

委員 一昨年度、水野の庚申塔が毀損された案件について、その後何か情報はあるか。また、他の石仏が同じような被害を受けた報告はあるか。

事務局 水野の庚申塔については、その後の報告はない。他の石仏の被害についても連絡はない。ただし、パトロールを行っていないため、実際のところはわからない。

- 委員長 前回の審議会後、地元自治会長に連絡をとったところ、その後の異常はないとのことであったが、自治会連合会等の総会などで日頃の確認をお願いするといったことも必要ではないか。
- 委員 共同墓地を綺麗にするという名目で、石仏を処分しようという話があった。古いものだからいらぬという考えもある。価値の共有という観点から、管理のあり方や重要性などをアピールしていく方法も考えていくべきではないか。
- 委員 石仏、石碑等の情報を地元住民に提供するため、過去に調査した時の資料を公民館等に常備するといった方策をとってほしい。
- 事務局 自治会には積極的に働きかけていきたい。提案された情報提供の方法についても、検討していきたい。
- 委員長 指定文化財の管理状況調査については、過去に実施した文化財パトロールを復活させることも検討してほしい。
- 事務局 了解した。
- 委員 石仏の調査は県や各市町村で実施されているが、近年注目されているのは、その他の石造物、例えば忠魂碑、力石、筆子塚、水害、日照り、飢饉に係る災害碑、疫病に係るものや近世から続く墓地の調査などである。これらすべてを教育委員会で調査するのは大変なことであるので、地元の歴史サークルや市内の大学の協力を得て調査をするのも一つの案である。
- 事務局 今後検討していきたい。

## 議 題

### 3 その他報告事項

資料に基づき、事務局から報告を行う。次のとおり質疑があった。

#### 質 疑

- 委員 中原5次調査で検出された遺構は、住居跡のほか、何があったのか。
- 事務局 縄文時代早期の炉穴の可能性はあるが、遺物は出土していない。住居跡からは前期の黒浜式土器の破片と黒曜石の剥片が出土している。
- 委員長 新指定の東三ツ木薬師堂薬師三尊像並びに十二神将像の公開については好評であったようだ。今後もこのような機会を設けることができたらと思う。

※新指定文化財「堀兼神社本殿厨子 附 棟札1枚」の説明版原稿については、各委員に原稿（案）を配布し、6月中旬までに意見集約することとした。